

大阪湾

大阪湾に強風をもたらす3通りのモデル経路を抽出した。また、それぞれの経路ごとに、大阪湾北東部(A点)及び関西空港沖(B点)の風向風速と波高の推算値の経時変化を図示している。

- ①経路：大阪湾の西方を北東進する台風〔右半円〕
強さ：最強(A) 速度：最も速いもの(F)
- ②経路：大阪湾内を北北東進する台風〔直上〕
強さ：最強(A) 速度：遅い(S)
- ③経路：大阪湾の東方を北北東進する台風〔左半円〕

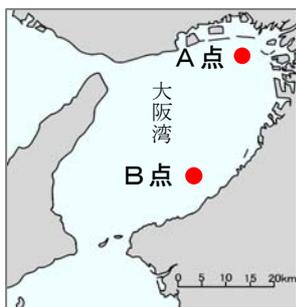


図 66 風と波の経時変化の推定地点

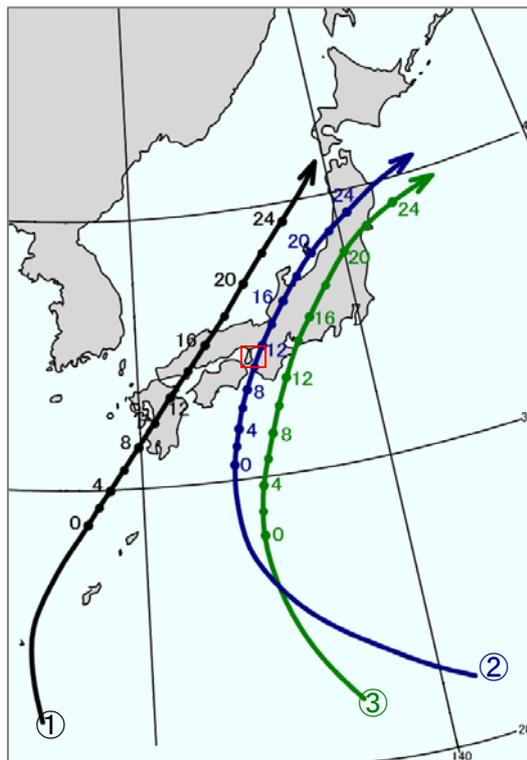


図 67 モデル台風の経路図

モデル台風 ①・・・台風が瀬戸内海西部を北東進 (大阪湾が右半円)

風向は、南東→西南西に変化し、風速も最接近時に最大に達して強い風が吹く。波高は、大阪湾北東部(A点)では、最接近から1時間後に最大となり、湾口からの波浪の侵入によって湾内のほぼ全域、特に、神戸港及び大阪港の沖合でかなり高くなるので、錨泊には注意を要する。

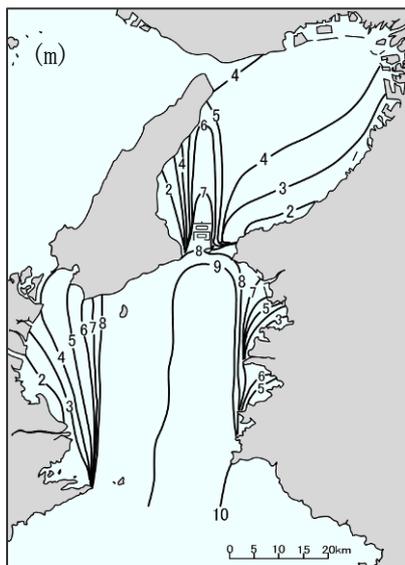


図 68 最大波高出現時の有義波高の分布

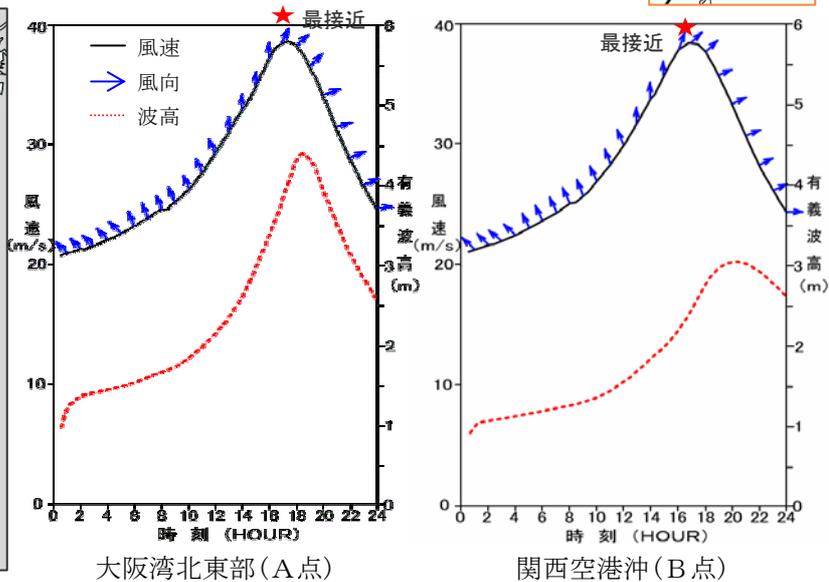


図 69 風向風速、波高の経時変化

モデル台風 ②・・・関西空港直上を北北東方に通過

中心の通過とともに風向が東南東→西に急変し、吹き返しの西風が強くなるので注意を要する。また、波高は、台風の通過時に一時的に低くなるが、通過後の西風によって高くなり、特に、関西空港付近の大阪湾南東岸では、通過後に波高がかなり高くなるので注意を要する。

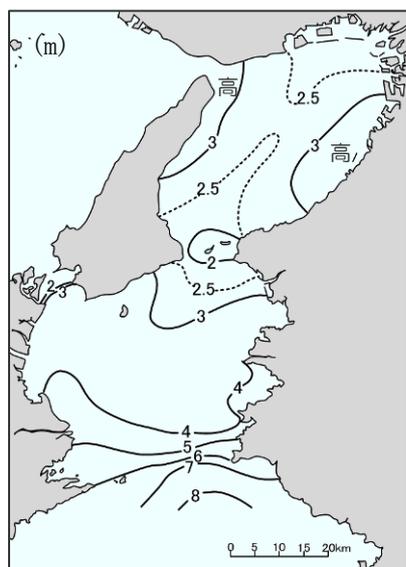
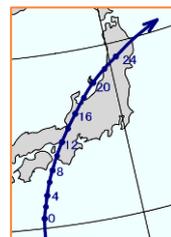


図 70 最大波高出現時の有義波高の分布

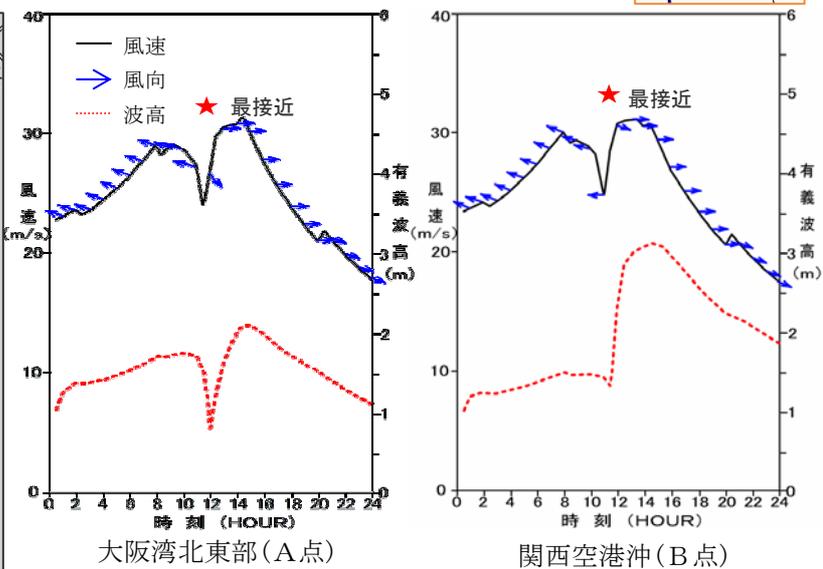


図 71 風向風速、波高の経時変化

モデル台風 ③・・・台風が紀伊半島の東部を北上（大阪湾が左半円）

風向が東→北→西と変化する、吹き返しの北西→西風の方が少し強く吹くが、風速の増減はそれほど大きくない。波高は、大阪湾北東部（A点）では高くなっていないが、関西空港沖（B点）では最接近から3時間後に最大となる。

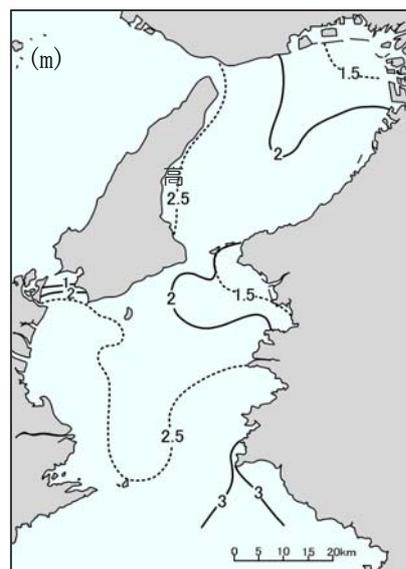


図 72 最大波高出現時の有義波高の分布

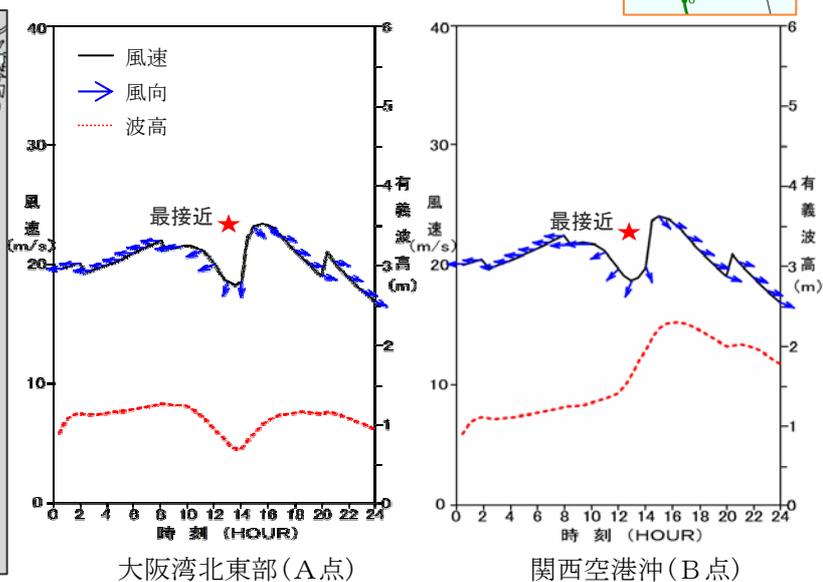


図 73 風向風速、波高の経時変化